

女性のためのつながりサポート事業【北海道北見市】

総事業費	5,200 千円
交付金額	3,900 千円

地域の実情と課題

本市は、北海道東部の中心に位置し、産業・経済の中心、医療・学術・教育・文化など様々な分野での機能が集積し、中核都市としてオホーツク圏域をけん引している。

北見市労働状況調査報告書では、有効求人倍率が前年度を下回り雇用対策が課題となっているが、女性の正規雇用率も42.9%(R4)から38.8%(R5)と下回る結果となっている。

事業の特徴

ONPO法人に委託し相談窓口の設置、メール・SNS相談、居場所づくりの提供した。

○週1回カフェスペースを設置し、誰でも気軽に来れるような場所を設けた。

○相談窓口を記載したチラシを同封し、女性用品の提供を行った。

事業の効果

目標60人に対し、相談人数80人と目標達成することが出来た。無料相談会とイベントの同時開催や、週1回の居場所カフェの開催に加え、市庁舎等への生理用品の設置や市内大学の学校祭でチラシと女性用品引き換えクーポンを入れたポケットティッシュの配布を実施した。上記の取り組みやSNSでの相談などにより、延べ相談件数の増加に繋がっている。

※年間延べ相談件数779件(昨年度394件)

目的・目標

孤独や孤立、不安を抱える女性が安心して生活できる支援体制の確立を目的として相談人数の目標は60人に設定、結果は80人と目標を達成することが出来た。

連携団体

NPO法人ワークフェア、ウイメンズ・きたみ、北見警察署生活安全課、消費者協会、北見市自立支援センター、ジョブサポートきたみ、北見市社会福祉協議会、北見工業大学、北見看護大学、日本赤十字社、ルアーナ、食品販売店、北見市関係機関等にポスター・カード等設置依頼するとともに広報活動を実施した。

今後の課題

引き続き、気軽に相談できる環境作りや相談窓口の周知に努め、不安や困難を抱える女性に寄り添った支援を行う。

また、生理用品の提供方法について、小中学校トイレへの設置を年度内に実施できるよう、関係機関と協議を進める。

事業の概要